

ミスミグループ

2019年3月期 決算報告

2019年5月10日
代表取締役社長CEO
大野龍隆

18年度決算の概要

為替レート (対円)	FY17 実績	FY18 実績
USドル	110.9円	110.7円
ユーロ	129.4円	128.4円
人民元	16.7円	16.5円

目次

1. 18年度決算の概要	2
2. 19年度通期連結業績見通し	12

18年度の市況と当社の取り組み

「デジタルものづくり」の潮流は不変
自動化へのニーズは世界的に顕在

しかし足元では

自動車・スマホ不振を起点とした設備需要弱含み

想定外に発生した米中貿易摩擦は長期化し、製造業の
投資意欲は月を追うごとに減退

当社は

- ・ デジタルものづくり適合のモデル革新を継続
- ・ 新設拠点の稼動時期を延期するなど需要減に対応

持続的成長に向け、**攻めと守りを均衡**させた一年

18年度決算概要

中・韓急減速など市況悪化の中、顧客を拡大し対前年成長を確保
モデル革新への投資は継続も需要減に応じ収益管理を徹底

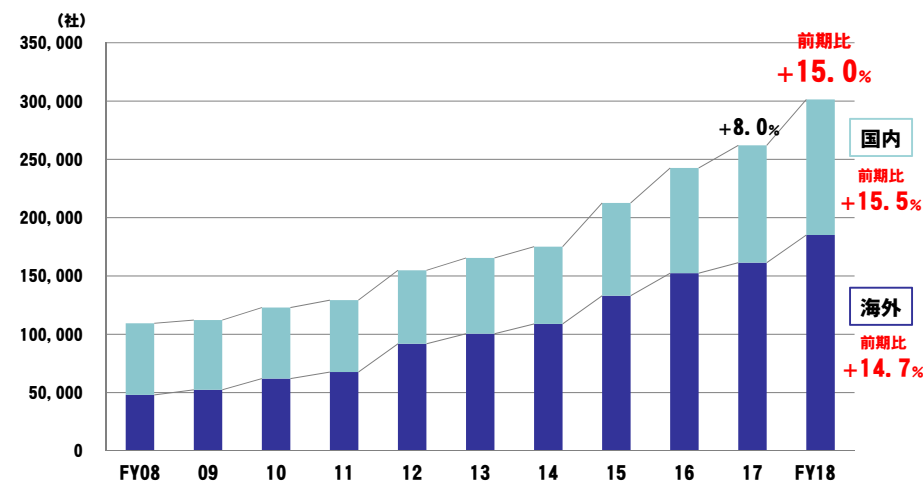
項目	FY17 実績	FY18			
		3Q修正計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	312,969	335,200	331,936	+6.1%	▲1.0%
営業利益 (のれん等償却前) ※	36,465	33,400	32,490	▲10.9%	▲2.7%
利益率	11.7%	10.0%	9.8%	▲1.9pt	▲0.2pt
営業利益	34,848	32,800	31,874	▲8.5%	▲2.8%
利益率	11.1%	9.8%	9.6%	▲1.5pt	▲0.2pt
経常利益	34,679	32,800	31,815	▲8.3%	▲3.0%
当期利益	25,601	23,500	24,034	▲6.1%	+2.3%

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

4

顧客数推移

确实短納期やECサイト進化で顧客ニーズに対応し顧客増を加速
需要減速期にも着実に顧客基盤を拡大、不況に強いミスミを実証



5

18年度 事業別売上高

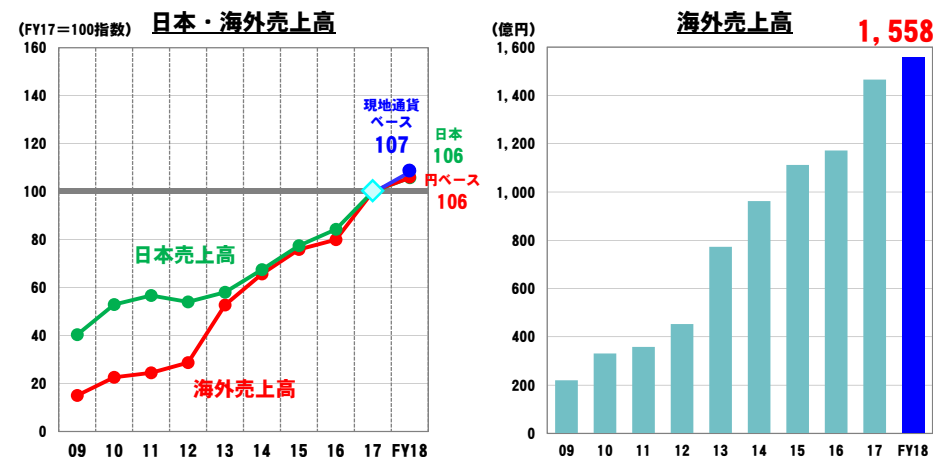
FA 中・韓減速を東南亜・欧でカバー、国内も成長を確保
金型部品 日・中・米は自動車関連需要低迷、亜ではシェア拡大
VONA 国内成長継続、東南亜など海外展開拡大もけん引

項目	FY17 実績	FY18		
		実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	312,969	331,936	+6.1%	+6.5%
FA事業	105,184	109,230	+3.8%	+4.2%
金型部品事業	76,523	76,443	▲0.1%	+0.6%
VONA事業	131,262	146,262	+11.4%	+11.7%

6

18年度 日本・海外売上高

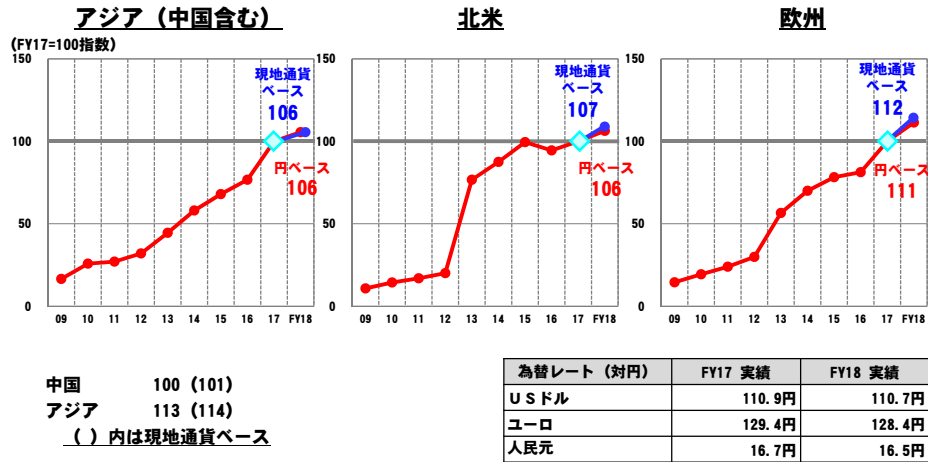
日本 VONA事業は成長継続、FA事業は微増収
海外 東南亜ではVONA、欧ではFAが成長をけん引
海外売上高は現地通貨ベースで7.2%増、海外比率は47%



7

18年度 地域別売上高 (現地通貨ベース)

アジア 東南亜で自動車・エレキ分野の量産工場需要刈り取り
 北米 F A品揃え拡大で自動車分野伸長+メキシコ市場開拓
 欧州 確実短納期の優位性により広い業種で顧客開拓が進む



18年度 事業別営業利益

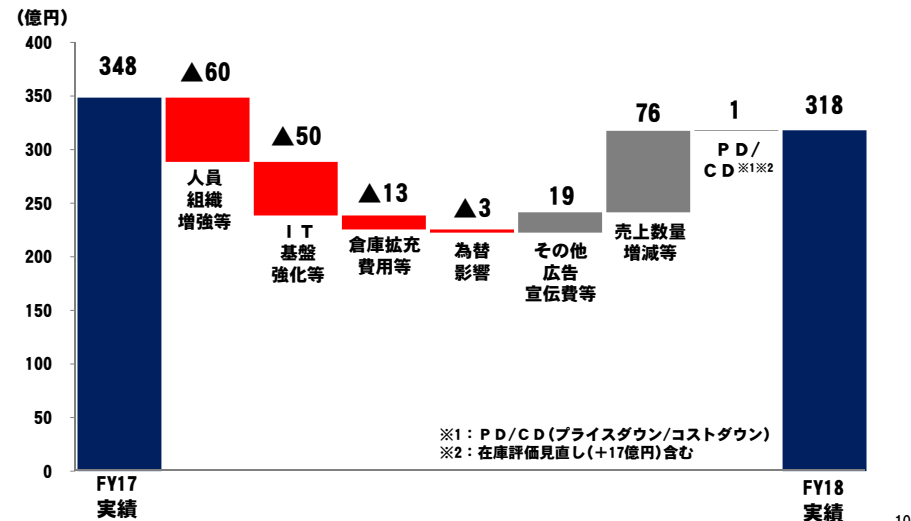
モデル革新に向けた先行投資を継続強化
 F A 費用増の影響はあるものの高収益性を継続維持
 金型部品 のれん等償却費用減により増益
 VONA 東南亜などにおける国際展開拡大を優先

項目	FY17		FY18			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			利益率	円ベース	現地通貨ベース	
合計	34,848	11.1%	31,874	9.6%	▲8.5%	▲7.6%
F A事業	20,171	19.2%	18,835	17.2%	▲6.6%	▲6.0%
金型部品事業	5,869	7.7%	6,109	8.0%	+4.1%	+5.1%
VONA事業	9,010	6.9%	6,929	4.7%	▲23.1%	▲21.3%
その他・調整額	▲203	-	-	-	-	-

百万円

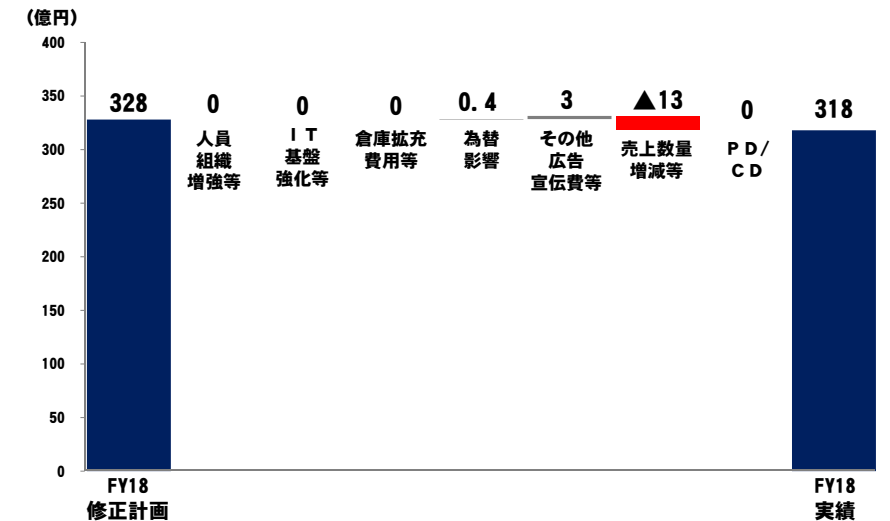
18年度 営業利益増減分析 (前年比)

組織増強やIT強化、物流拠点拡充など事業基盤の強化を継続
 売上数量増、宣伝費コスト低減などにより高収益性は維持



18年度 営業利益増減分析 (修正計画比)

下期稼動減を見越し収益管理徹底も売上数量減をカバーできず



19年度通期連結業績見通し

為替レート (対円)	FY18 実績	FY19 計画
U S ドル	110.7円	108.0円
ユーロ	128.4円	124.0円
人民元	16.5円	16.2円

12

19年度の見立てと当社の取り組み

米中貿易摩擦の長期化懸念により中国経済は不透明継続
 スマホに代わりF A業界をけん引する産業は不在
 短期的には世界的な景気減速への懸念が強まる
 然しながら、デジタルものづくりの進化は加速

長期的：デジタルものづくりに適合した**モデル革新**
 短期的：**一時的「量」の減少**への対応

ミスモデルの真価が問われる1年

13

19年度通期 業績見通し

売上高は9期連続で過去最高更新を計画
 モデル革新への取り組みを強化しつつ収益体質の改善を図る

百万円

項目	FY18	FY19	
	実績	計画	対前年増減率
売上高	331,936	355,000	+6.9%
営業利益 (のれん等償却前) ※	32,490	36,000	+10.8%
利益率	9.8%	10.1%	+0.3pt
営業利益	31,874	35,400	+11.1%
利益率	9.6%	10.0%	+0.4pt
経常利益	31,815	35,200	+10.6%
当期利益	24,034	25,900	+7.8%

※北米DL社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

14

19年度 事業別売上高見通し

確実短納期の強みで顧客基盤を拡大しF A・金型とも成長を確保
 V O N Aは積極在庫積増しで短納期ニーズを充足し成長を継続

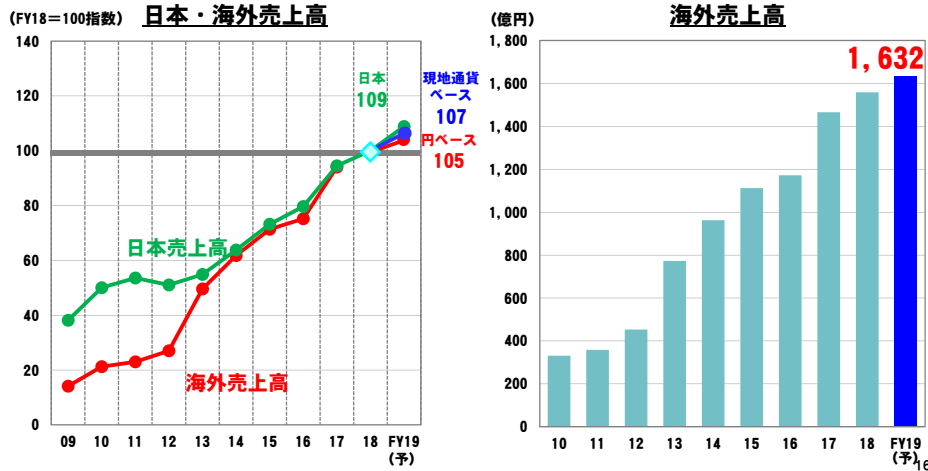
百万円

項目	FY18 実績	FY19 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
	合計	331,936	355,000	+6.9%
F A事業	109,230	113,033	+3.5%	+4.7%
金型部品事業	76,443	79,089	+3.5%	+5.4%
V O N A事業	146,262	162,879	+11.4%	+12.2%

15

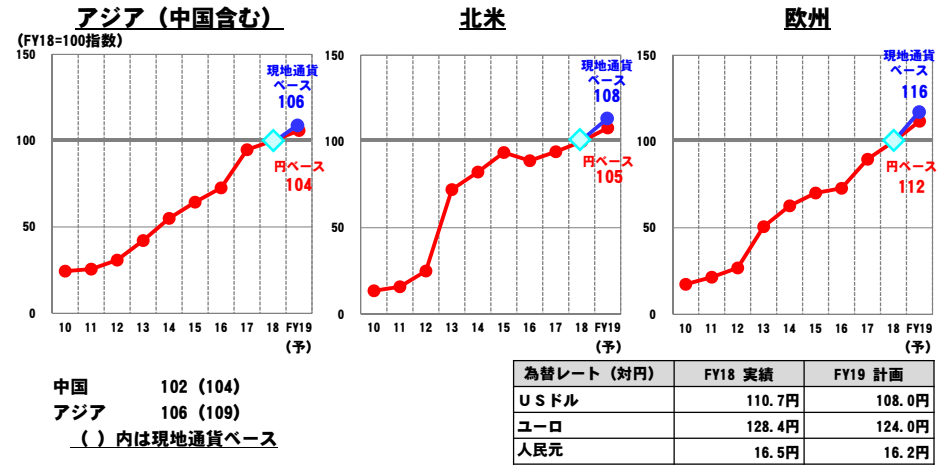
19年度 日本・海外売上高見通し

日本 引き続きVONA事業が成長をけん引
 海外 中・韓は低成長に留まるも、亟のVONA事業が拡大継続
 海外売上高は現地通貨ベースで7.4%増、海外比率は46%



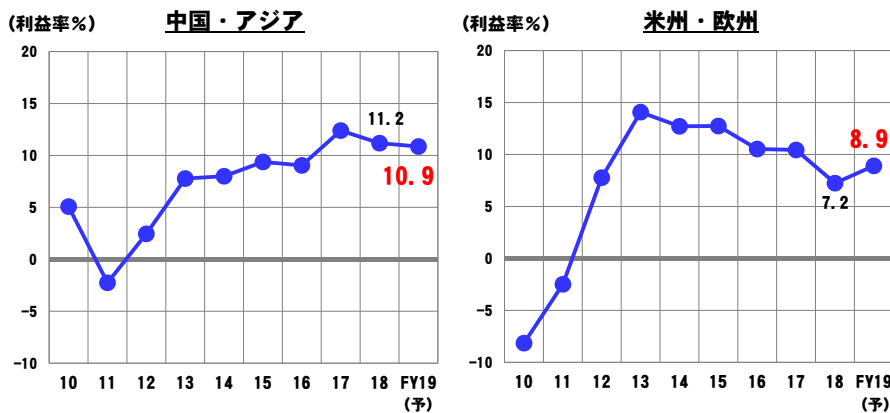
19年度 地域別売上高見通し (現地通貨ベース)

アジア 量産工場をターゲットに顧客数・顧客内シェアを拡大
 北米 品揃え増と現地規格対応でF A顧客開拓+メキシコ拡大
 欧州 確実短納期の強化で自動車関連需要を刈り取り



19年度 所在地別営業利益見通し

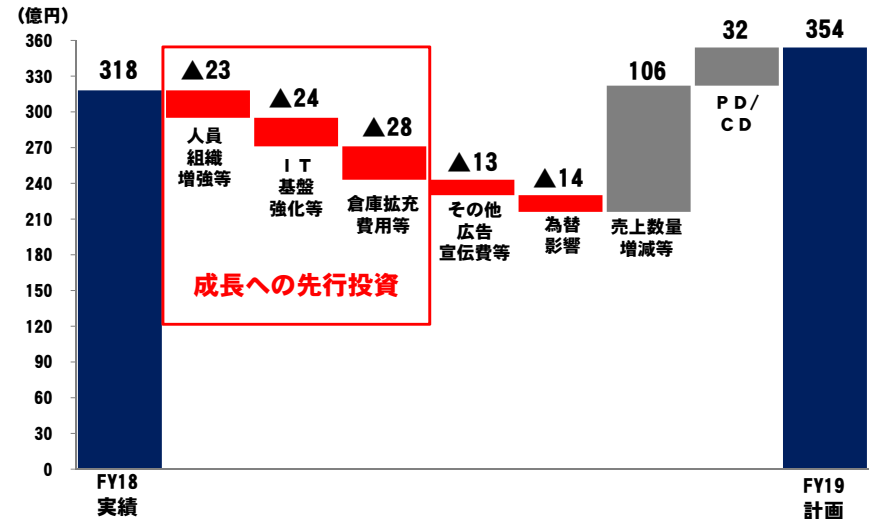
各地域ともモデル革新への事業基盤強化を継続
 生産効率の改善、調達コストダウンを徹底し収益性を維持



※ 1. 所在地別営業利益に基づく
 2. 12年度より米州・欧州合計と中国・アジア合計の2地域別で営業利益(率)を表記
 3. 北米D L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益を元に算定

19年度 営業利益増減要因(前年比)

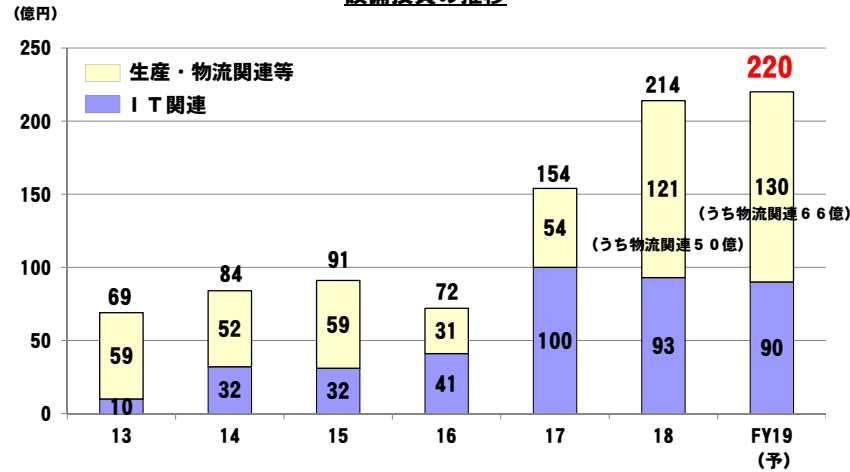
中日本・東日本・米・欧の倉庫拡張など、先行投資を継続
 売上数量増に加え生産・調達コスト低減により増益を計画



投資計画

モデル革新に向けた事業基盤強化への投資を継続
物流拠点の拡張等によりグローバル確実短納期体制を一層強化

設備投資の推移

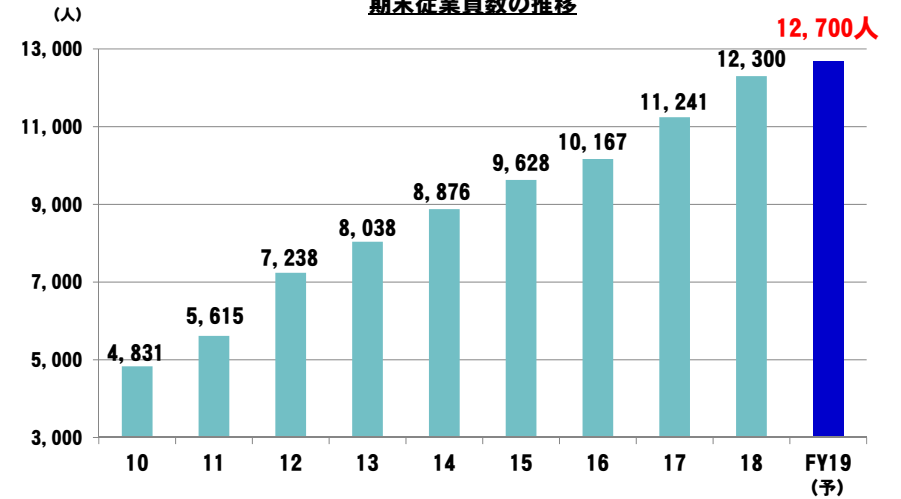


20

人員計画

グローバル事業拡大に向け組織拡充を継続、同時に効率化も追求
国内では東日本流通センター移転拡張に伴い組織を増強

期末従業員数の推移

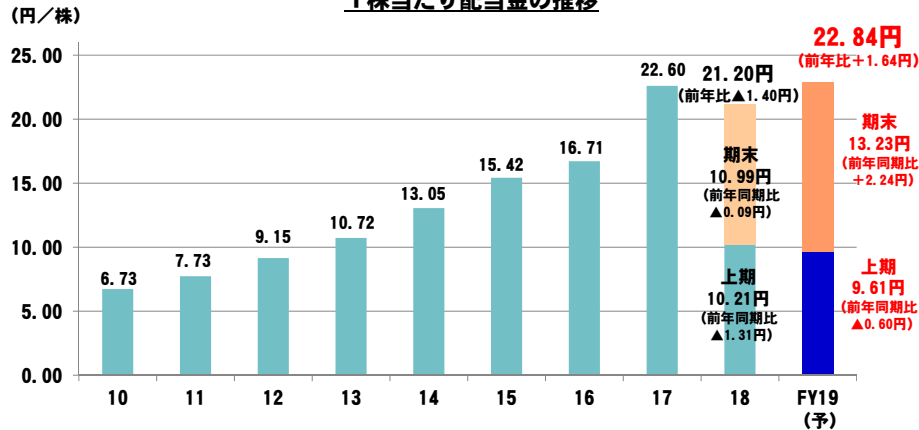


21

株主還元

18年度は、通期21.20円の配当を実施予定
19年度は、通期22.84円の配当を見込む(配当性向25%)

1株当たり配当金の推移

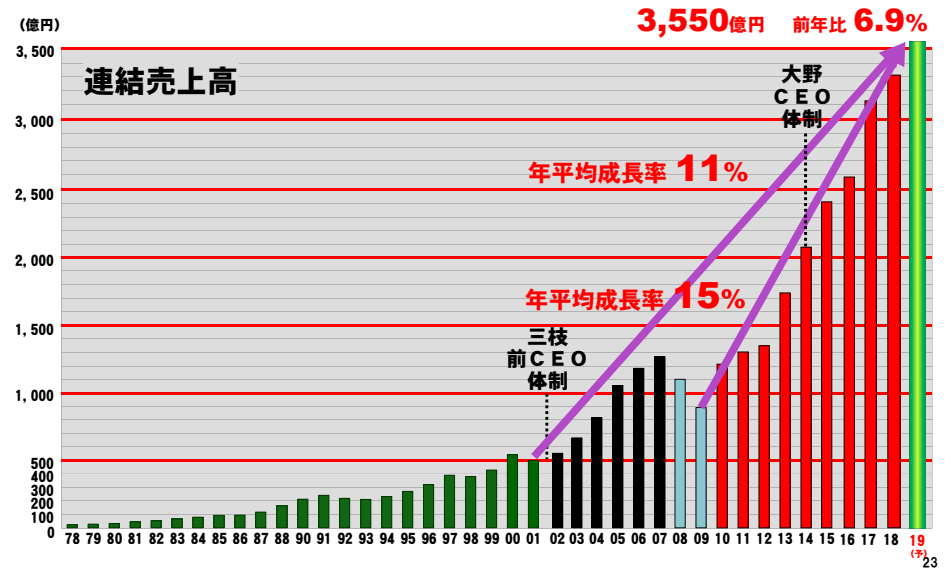


※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても適及調整しております。

22

まとめ

戦略経営を推し進め、自助努力による持続的成長を目指す



23